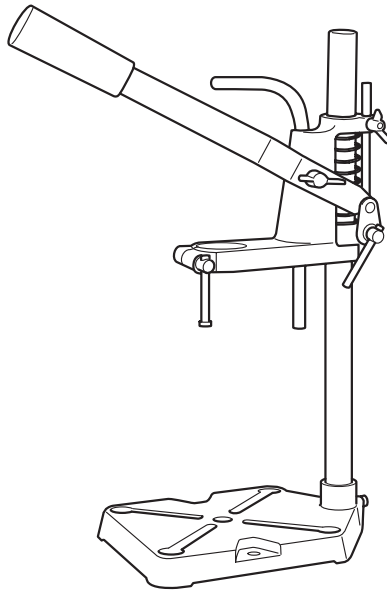


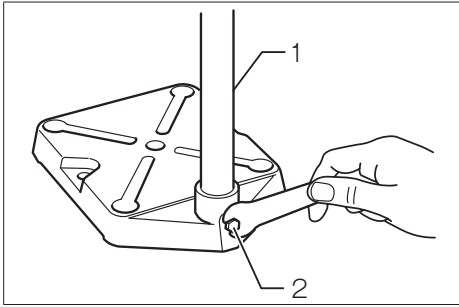


ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

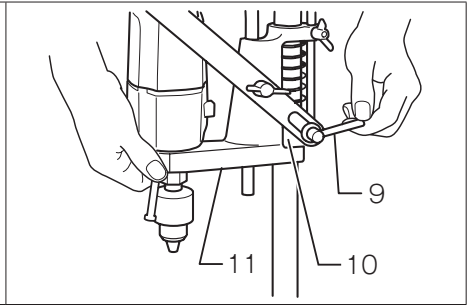
取扱説明書
INSTRUCTION MANUAL

43型ドリルスタンド
Type 43 Bench Drill Stand

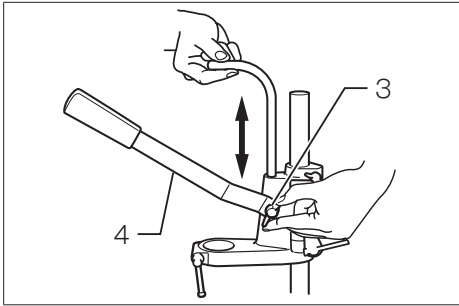




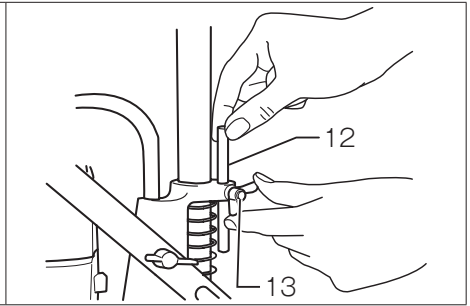
1



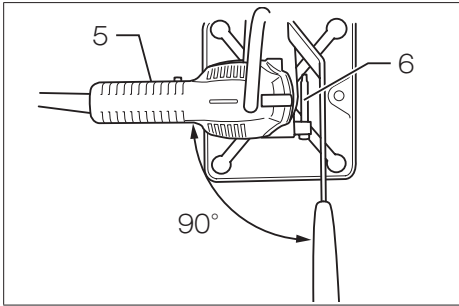
5



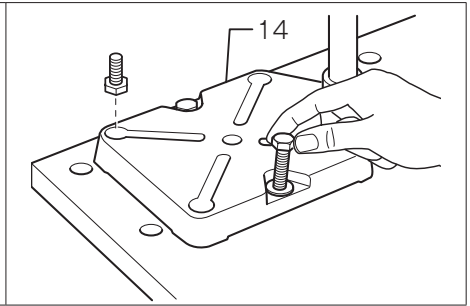
2



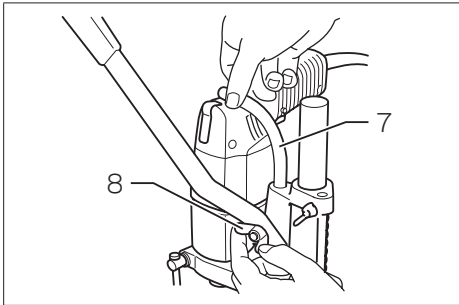
6



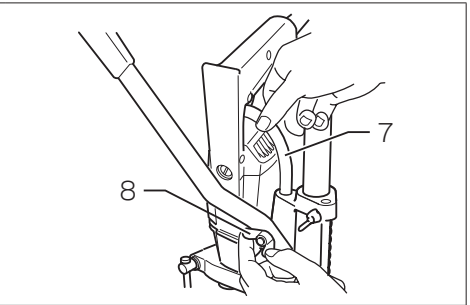
3



7



4



主要機能

主要機能	モデル	43型ドリルスタンド
ストローク		58 mm
全長		450 mm
質量		3.3 kg
フトコロ寸法		97.5 mm
テーブルの大きさ		150 × 170 mm

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

: 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

: 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

安全上のご注意

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警告

1. ドリルをドリルスタンドへ取り付け、取りはずす際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。
 - ・ プラグを電源につないだまま行くと事故の原因になります。
2. ご使用前に本機の取扱い説明書を良くお読みの上、その指示に従って正しく使用してください。
 - ・ 誤った取扱いをすると、けがの原因になります。
3. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
4. 使用中は、工具や切りクズに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、キリや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

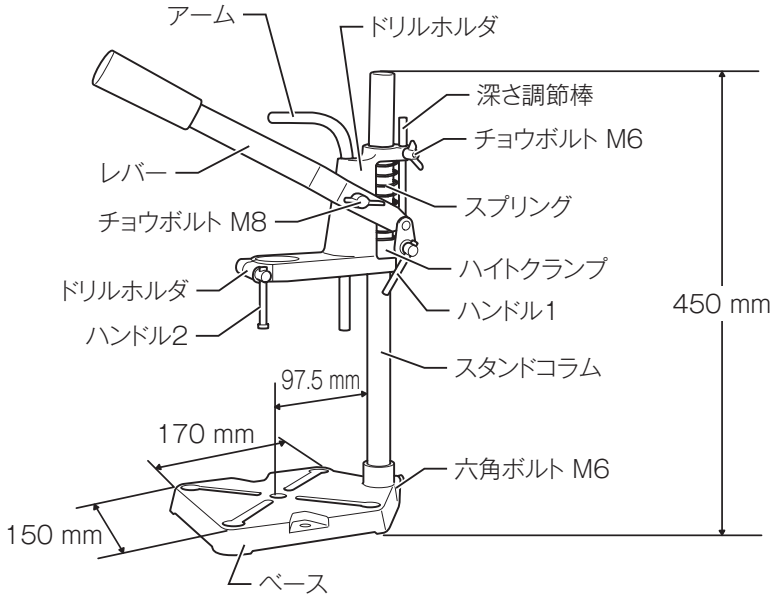
- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ・ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

各部の名称

部品名称

- | | | | |
|---------------|-------------|--------------|--------------|
| 1. スタンドコラム | 2. 六角ボルト M6 | 3. チョウボルト M8 | 4. レバー |
| 5. ドリル | 6. ハンドル 2 | 7. アーム | 8. チョウボルト M8 |
| 9. ハンドル 1 | 10. ハイトクランプ | 11. ドリルホルダ | 12. 深さ調節棒 |
| 13. チョウボルト M6 | 14. ベース | | |

各部の名称



このスタンドにカクノミアタッチメントは取り付けません。

☆モデル 6300L、6300-4 は下記製造番号以前のものは、スタンドに取り付けることはできませんのでご了承ください。

6300L …… No.17601

6300-4 …… No.6413

ドリルスタンドの使い方

- ・ ベースにスタンドコラムを挿入して六角ボルト（M6）をお手持ちのスパナ、ボックスレンチにて締め付け固定してください。（Fig.1）
- ・ レバーをチョウボルト（M8）でドリルホルダに取り付けます。（Fig.2）アームはドリル取り付けに支障のないところへ移動させてください。

⚠ 警告

ドリルの取り付け、取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

- ・ プラグを電源につないだまま行くと、事故の原因になります。

ドリルの取り付けの際は、ドリルホルダとアームを使用してしっかり固定してください。

- ・ 固定がゆるいとけがの原因になります。

- ・ ドリル本体の握りが、ドリルスタンドのレバーに対し 90° になるようにドリルを取り付け、ハンドル 2 で固定します。（Fig.3）
- ・ アームをドリル本体に押えつけながらチョウボルト（M8）で固定します。

注

- ・ アームを取り外して使用しますとチョウボルト（M8）がゆるみますので必ず取り付けてご使用ください。（Fig.4）
- ・ ドリルホルダの位置を変えるには、ハンドル 1 をゆるめハイトクランプを移動させて位置を変えます。（Fig.5）
- ・ 穴の深さを一定にしたい時は、チョウボルト（M6）をゆるめ、深さ調節棒を上下に移動して調節します。（Fig.6）
- ・ ベースを固定するには、両側の孔に木ネジ又は六角ボルト（M10）を差し込み固定します。（Fig.7）

また、加工材を固定するには、4本の長溝先端部に六角ボルト（M10）を頭部より差し込み、六角ナットで固定します。木ネジ、六角ボルト（M10）六角ナットは本機には付いておりません。

穴あけ方法

- ・ 金属に穴をあける場合は、穴をあけたい位置にセンタポンチでクボミを作って、そのクボミにキリの先をあてがえば、キリの先がすべらず正確な位置に穴あけができます。
- ・ 穴あけ時にはキリに油（マシン油）をつけて作業してください。

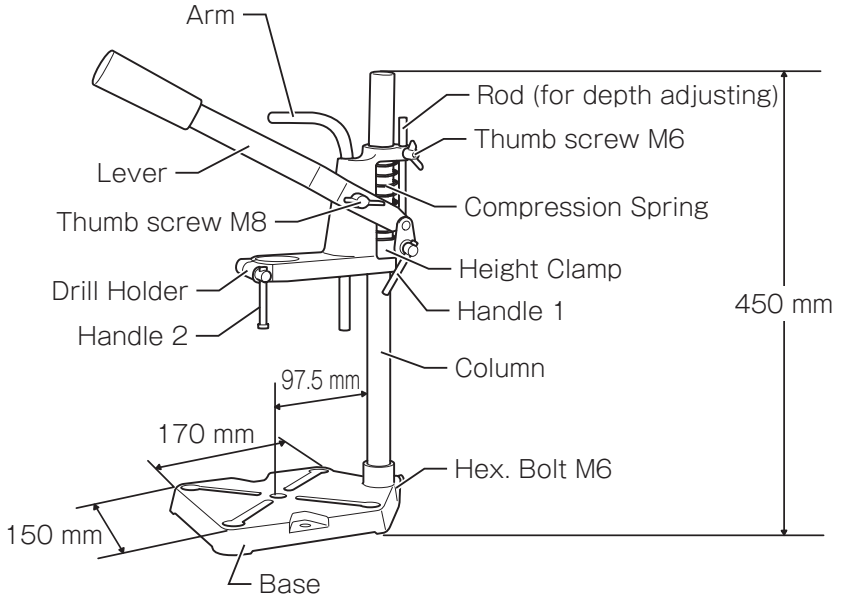
注

- ・ 機械を無理に押しつけて回転数を大幅に低下させることは避けてください。作業能率が低下するばかりでなく、機械の寿命も短くなります。

Explanation of general view

- | | | | |
|-------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 1.Column | 2.Hex. bolt M6 | 3.Thumb screw M8 | 4.Lever |
| 5.Drill | 6.Handle 2 | 7.Arm | 8.Thumb screw M8 |
| 9.Handle 1 | 10.Height clamp | 11.Drill holder | 12.Rod |
| 13.Thumb screw M6 | 14.Base | | |

NAME OF PARTS



HOW TO USE

ASSEMBLY

Insert column in base and use spanner to secure it with hex bolt (M6).(Fig.1)
Secure the lever handle to the drill holder with thumb screw (M8).(Fig.2)

ATTACHING DRILL STAND

CAUTION:

Make sure the drill is secured tightly with the drill holder and the arm. Otherwise loose drill may cause personal injury.

Loosen the thumb screw (M8) and revolve retainer arm until it is out of the way of the drill when the latter is installed. With the drill grip and the lever at 90 degrees to each other, fasten the drill in place with handle(2).(Fig.3)

If you tighten handle (2) without mounting drill in place, the drill holder will be deformed.

DRILL RETAINER ARM

Holding the drill lightly with the retainer arm, fasten the thumb screw (M8). (Fig.4)

If you do this without the retainer arm, the thumb screw(M8) will come loose.

Always use the arm.

DRILL HOLDER

Loosen handle (1) and move the drill holder to obtain a space between the base and chuck for the given materials.(Fig.5)

For multiple drilling

Loosen the thumb screw (M6) and adjust rod to make drill at a consistent depth chosen.(Fig.6)

BASE

Using the two holes in the base, fasten the base with a wood screw or bolt of under size M10.(Fig.7)

The base accommodates a vise by use of M10 hex bolts and nuts and the four grooves in it.

MAINTENANCE

Oil the sliding parts of the bench drill stand from time to time.

CAUTION:

The use of any other accessories not specified in this manual might be hazardous.

Makita Corporation

Anjo, Aichi, Japan

www.makita.com

881134E6

IWT